

〔国際会議〕

申 請 者	明治大学 理工学部 情報科学科 特任准教授 福地 健太郎	2015007
研究集会名	ACM International Conference on Interactive Tabletops and Surfaces 2011	
開催期間	平成 23 年 11 月 13 日～11 月 16 日	
開催場所	神戸国際会館	
申請者の役割	実行委員長	

概 要：

当会議は「ヒューマンコンピュータインタラクション」、すなわち人間とコンピュータシステムとの相互作用についての研究分野の一つであり、近年成長が著しい「テーブルトップ」と呼ばれる分野に関する、唯一の国際会議である。テーブルという日常生活で誰もが常に触れている領域を情報世界への一アクセス手段とすることで、従来のコンピュータの使用形態に囚われない、生活環境における新しい人間と機械との関わり方を提案していくことを目的としている。

これまでこの分野では米欧に加え日本でも多くの研究がなされてきており、その帰結として 2011 年度の日本開催が決定した。特に日本では家電メーカーや事務機器メーカーなどの民間企業が積極的に当該分野での製品開発を進めているため、産学の交流が強く期待されている。

今回の会議では基礎的な技術から応用まで幅広い内容の発表が集まった。ベストペーパー賞を受賞した発表はバイオ系のラボでのテーブルトップシステムの応用についての研究であり、本分野の応用範囲の広さを示すものであった。また、今回は 19 カ国から 147 名の参加があった。うち海外からの参加者は 83 名で、韓国・中国・台湾・インド・オーストラリア・ニュージーランドと、アジア・オセアニア圏からの参加者が増加した。また、国内の多数の企業・大学から協賛があり、本分野での日本の存在感をアピールすることができた。